

平成 28 年 年頭にあたって

2016.01.01

立命館大学技術士会

会長 大森 秀高

平成 28 年の新春を迎えるにあたって、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も世界各地で異常気象による洪水や大規模地震が発生し、国の経済や人々の生活に多大の影響を与えました。わが国においても、台風による大雨で東北・関東地域に甚大な洪水被害が発生しました。被災された方々にご関係の皆様には心からお見舞いを申し上げます。また、水害だけでなく、火山活動も活発化してきており、南海・東南海、首都圏直下型地震など大規模災害に対する国民の不安も高まってきており、安全・安心な国土の整備に向けた早急な対策・整備が望まれています。

防災以外にもわが国においては、インフラ構造物の維持・更新、人口減少・少子高齢化時代の地域創生、安定的なエネルギー供給、地域規模の環境保全、インフラ輸出などを通じた国際貢献など、今後取り組まなければならない課題は少なくありません。

ここで重要となるのは、その役割を持続的に果たすための担い手をいかに育成するかということです。立命館大学技術士会は、職域、性別、年齢、地域を問わず、より多くの同窓技術士の方々に当会の活動に参加いただき、次代を担う立命館大学の理工系学生の「技術者になること」への魅力の回復、技術士を目指す後輩技術者への支援・指導をお願いするとともに、倫理観を持って技術士の使命たる科学技術の向上に努め、公益と国民経済の発展に資するよう研鑽していただくことを願っております。そして、国内外の舞台で活躍できる、多彩な人材が輩出されることを期待しています。

本年も、当会の目的と役割を再認識し、技術士の社会的地位の確保・向上と立命館大学の持続的な発展に向けて、行動・活動をして参りますので、皆様方のご理解とご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。